



菊川公民館だより

令和7年6月号

No.202

第1回菊川公民館運営審議会

5月23日（金）、6名の運営審議会委員の皆さんと事務局（館主・館長・主事）の3名が出席して、第1回菊川公民館運営審議会を公民館ホールで開催しました。

今年度の愛南町教育基本方針等について説明した後に、菊川公民館としての基本方針、重点目標、事業計画（案）について説明し、その後は前年度に評価を受けた事業についての結果報告に合わせて、マネジメントシートによる公民館事業点検評価の流れについて説明しました。

この運営審議会は、年3回の開催予定となっています。第2回目は委員の皆様のご意見を予算編成に反映させるため、11月頃に開催します。各事業ごとに課題・問題点・必要性等を審議していただき、来年度の公民館運営をより活性化させていきたいと思っております。



新任の田中恵和委員、井関裕子委員、津々木美里委員、徳田真委員

婦人会料理教室（1回目）

5月10日（土）に、菊川婦人会（代表者：井関裕子さん）の皆さんが今年度1回目（年4回）の料理教室を行い、講師の大黒富与さんの指導のもと、かぼちゃ饅頭と柏もちを作りました。この料理教室は、開催ごとに婦人会会員の中から講師役を決めることになっています。



講師の大黒富与さん



老人クラブ定例会

5月14日(水)、菊川老人クラブ(代表者:石川良子さん)の皆さんが定例会を行い、公民館ホールで屋内モルックを体験しました。その後は持参したおやつを皆で食べながら、次回の定例会の内容などについて話し合いました。



フードパントリー

5月21日(水)、公民館ホールで愛南町社会福祉協議会によるフードパントリーが開催されました。これは個人の方から企業を通じてご寄付いただいた食料品を生活に困っている家庭や支援団体など、多くの皆さんと分け合う取り組みです。



四季の花☆運動

ソーシャル・インクルージョン

「ソーシャル・インクルージョン」とは、障がいのある人だけでなく、女性、子ども、高齢者、外国籍の人など社会的弱者となり得る様々な立場にある人々を含め、全ての人々が社会を構成する一員であり、多様性を受け入れる社会の実現こそ大切であるという考え方です。「ソーシャル・インクルージョン」が進めば、誰もが差別されず、自分の能力を發揮できる社会となります。(愛媛県教育委員会人権教育課『人権・同和教育だより』より一部抜粋)



【編集後記】

最近はいきなり夏のように暑くなったり、ちょっと上着が必要なほど肌寒くなったりで、なかなか気象の変化についていけません。5月下旬も雨の日が多くなり、25日(日)の「菊川地区グラウンドゴルフ大会」の開催が危ぶまれましたが、予定通り実施することができました。大会の様子は来月号に掲載しますので、よろしくお願いします。(I)

菊川俳句会



於 菊川公民館
五月二十八日(水)

※入稿日までに集まった俳句を紹介しています。

半端な 川	桜落る 野	寒さ耐え 野	衣替え鏡 野	静脈のふくらみ 田	砂浜のTシャツ 岡	肩書きを捨てし 田	夏の露水平線を 野
薫焼き熱波初 天	ひとり無心の地蔵さま 孝	いろいろい頭春の句 美	私背すじ伸び 清	青初夏の闇 り	アート碧き風 美	三年春深し 樹	空無敵 郎

◎新聞・雑誌・段ボール・廃乾電池の収集日は、6月4日(水)です。



菊川公民館区人口(令和7年5月1日現在)

男	181人	(前月比+1)
女	184人	(前月比+1)
合計	365人	(前月比+2)
世帯数	201戸	(前月比+1)

発行元:菊川公民館

〒798-4101

愛南町御荘菊川1159-1

TEL・FAX 74-0334

